

都立瑞穂農芸高等学校 グランドデザイン

【生徒／学校の現状】①明るく素直でのんびりしている生徒が多い
②得意な科目や好きなことには熱心に取り組む、頑張ることができる。反面、基礎学力が身につけておらず、家庭での学習時間が少ない
③コミュニケーションなど個別支援を必要とする生徒が増加傾向にある ④大学進学を希望している生徒が少ない ⑤特色のある学びができる学校であり、専門教育を中心として豊かな人格形成に努めている ⑥生徒のニーズが多様化し、それに伴い施設の改修が必要

【予想される社会の変化】①大学進学率が60%を超え、幅広い教養が求められる ②AI 技術の進歩によりコミュニケーションの機会が減り、今ある職業が消え、価値観が変化し、よりデジタル化が進み、新たな職業や価値観が出現する ③少子高齢化、外国人労働者の増加、異常気象、環境問題、資源エネルギー、国際競争力の激化

【教育目標】
校訓「至誠」「勤勉」「創造」に基づき真理と正義を愛し、勤労と責任を重んじ、心身ともに健康な民主社会の担い手の育成を目指して、
①自律と協力の精神を高める。
②幅広い教養と高い専門性を培う。
③豊かな心と望ましい職業観を育てる。
④学習指導の充実と心の教育の推進を図る。
【学校経営計画】
校訓「至誠」「勤勉」「創造」に基づき、「生命（いのち）に学ぶ学校」としての特徴を發揮し、農業科教育と家庭科教育を通して、「わかる」「できる」「つかう」のステップで生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばし、豊かな心をもつ自立した社会人を育成する学校。

【目指すべき生徒の将来像（20年後の生徒の姿など）】
(1) 普通教育を基礎とし、農業や家庭の専門教育や指導を通して、資格や検定を受験し、高度な専門的知識・技能を習得し、食・生命・環境に係るスペシャリストとなる人材。
(2) 多様な価値観を受容でき、自他の良さを認め、コミュニケーションを通して地域社会や国際社会に貢献できる有為な人材。
(3) 基本的生活習慣を確立し、社会のルールやマナーを遵守し、心身ともに健康で自己肯定感の高い人材。

【育成すべき資質・能力】
①読む、聞く、書く、話すの言語活動や基礎知識の反復指導による学力の定着、考える力や創造する力及びコミュニケーション力やディスカッション力 ②資格、検定の受験や各種競技会やコンクール等へチャレンジする力 ③農業クラブ、家庭クラブ等活動に取り組み、プロジェクト学習を推進する力 ④規律と社会常識への理解度を高め、ルールやマナーを守る判断力と行動力 ⑤基本的な生活習慣の確立に努める意志力 ⑥集団や地域と連携し、仲間と協働する力 ⑦自然を愛し、人を大切に、自分の存在や価値を大事にする自己肯定力 ⑧3年間の進路指導を受け、自己の将来を描く将来設計力 ⑨情報を取捨選択する力 ⑩自己の価値観、職業観等から自己の進路を決定できる意思決定力 ⑪持続可能な社会を創造できる力 (or 創造していく力)

【育成すべき資質・能力に基づくルーブリック】 上段：目標 下段：活動

| | | 育成すべき資質・能力 | レベル1 (わかる・高校1年程度) | レベル2 (できる・高校2年程度) | レベル3 (つかう・高校3年程度) | 目指すべき 生徒の将来像 |
|-----------------|----------------------------------|---|---|---|--|-------------------|
| 知識・技能 | 学力 | 基礎学力 基礎的・基本的な学力の定着。発展的な学力の伸長 | ・中学校までの内容が活用でき、高校1年の内容が理解できる 授業、AL、夏季補習、講習 | ・高校1年までの内容が活用でき、高校2年の内容が理解できる 授業、AL、夏季補習、講習 | ・高校2年までの内容を活用でき、応用に発展できる 授業、AL、夏季補習、講習 | 食・生命・環境に係るスペシャリスト |
| | 資格 | 資格取得 自己のスキルアップ | ・高校1年生程度の検定に合格できる 英語検定、漢字検定、農業技術検定、手話検定、授業、夏季補習、講習 | ・高校2年生および3年生程度の検定に合格できる 英語検定、漢字検定、農業技術検定、手話検定、課題研究、夏季補習、講習 | ・高校卒業程度の検定に合格できる 英語検定、漢字検定、農業技術検定、手話検定、課題研究、夏季補習、講習 | |
| | 技能・技術 | スペシャリスト養成 高度な専門知識・技能の習得 | ・専門科目について座学と実習を通して基礎的な知識と技能を習得する ・実習のレポートを作成させ、まとめ方や作成能力を高める 総合実習、類型、農業クラブ、家庭クラブ、プロジェクト学習 | ・専門分野に分かれ、座学で理論を学習し、実習で技能を高める ・プロの講師を招聘し実技指導を受ける。上級学校や職場を訪問してプロの現場を体験する。 総合実習、類型、農業クラブ、家庭クラブ、プロジェクト学習 | ・瑞高祭において自分たちの知識と技能を存分に発揮することができる ・下級生の指導助言ができる ・スペシャリストの自覚がもてる 総合実習、類型、農業クラブ、家庭クラブ、プロジェクト学習 | |
| 思考力・判断力・表現力 | 対話 | コミュニケーション力 人間関係を構築する能力 | ・挨拶がきちんとできる ・他者からの話を聞ける ・相手の立場や気持ちを考慮した話ができる 人間と社会、LHR、部活動 | ・他者の意見や考えを受け入れ、自分の考えを述べられる ・話の要点を理解し、考えをまとめられる LHR、部活動 | ・議論や対話を通して、より良い結論を導き出せる ・客観的な考察を加え、より深化できる LHR、部活動 | |
| | 深化・表現・主体性 | 探求力、プレゼン力 課題研究及び表現力 | ・提示された課題に対し、調べたことを文章や図表化ができる 課題研究、学習成果発表会、農業クラブ、プロジェクト学習、 | ・自ら課題を見出し、調べたことを文章や図表化ができる 課題研究、学習成果発表会、農業クラブ、プロジェクト学習、 | ・課題研究発表会において、わかりやすく、的確にプレゼンできる 課題研究、学習成果発表会、農業クラブ、プロジェクト学習、 | |
| | 意思決定能力 自分自身の意思と責任で判断決定する力 | ・自己の価値観、職業観、勤労観をもつことができる ・進路実現のために課題を設定して取り組むことができる 実習授業、進路ガイダンス、人間と社会、市民講師授業、LHR、ガイダンス | ・多様な選択肢の中から進路や学習を主体的に選択することができる 実習授業、進路ガイダンス、市民講師授業、LHR、ガイダンス | ・進路実現のために必要な諸条件や課題に対し主体的に取り組むことができる ・理想と現実の葛藤を通し、困難を克服するための意思がもてる 実習授業、進路ガイダンス、社会人講座、市民講師授業、LHR、ガイダンス | | |
| 学びに向かう力 人間性等 | 規範意識 | 規範意識 ルールやマナーを守る力 | ・授業規律を守ることができる ・制服の正しい着こなしができる ・SNSの正しい使い方を身につける ・正しい言葉遣いができる ・時間を守ることができる ・暴言暴力、いじめの否定 実習授業、セーフティ教室、人間と社会、部活動、 | ・個々が安心安全な学習環境を作り出し、落ち着いた学校生活を送ることができる ・暴言暴力、いじめを否定し、許さない正しい心をもつ 実習授業、セーフティ教室、部活動、 | ・社会人なるための規範意識を高くもち、全校生徒の模範となる ・暴言暴力、いじめの根絶に向け自他ともに意識を高めあうことができる 実習授業、セーフティ教室、部活動 | |
| | 多様性・協働性 | 協働、協調 多様性を受け入れ、互いの良さを認識し、共に生きる力を育む力 | ・集団や他者との中で自分の役割を見つけ、自主的に行動できる 瑞高祭、体育祭、避難訓練、宿泊防災訓練、部活動、小笠原体験活動 | ・集団や他者との協働の中で、他者の良さを認識し、良さを引き出そうとする 瑞高祭、体育祭、避難訓練、部活動、小笠原体験活動 | ・集団や他者との協働の中で、互いの良さを引き出し合い高め合いながら目標達成に活動できる 瑞高祭、体育祭、避難訓練、部活動、小笠原体験活動 | |
| | 自己肯定力 自他の価値や存在意義を肯定する感性 | ・感謝の言葉が言えることができる ・自分の良さを認めることができる 瑞高祭、体育祭、保健講話、性格診断、部活動、小笠原体験活動 | ・他者の良いところを見つけ、その価値を認めることができる 瑞高祭、体育祭、保健講話、性格診断、部活動、小笠原体験活動 | ・自他の良いところを尊重し、互いの存在意義を認識する 瑞高祭、体育祭、保健講話、性格診断、部活動、小笠原体験活動 | | |
| 将来設計能力 | 将来設計力 情報を収集・分析し自己の将来に向けて活用する力 | ・専門学科の指導を受け、自分の興味関心を知ることができる 進路ガイダンス、OB・OG講話、LHR、ガイダンス | ・専門分野を学習し、自らの関心と進路を総合的に考えることができる 進路ガイダンス、OB・OG講話、LHR、ガイダンス | ・自らが決定した進路について、プロフェッショナルとなるように努力できる 進路ガイダンス、OB・OG講話、LHR、ガイダンス | | |